

令和5年

雲南市議会 3月定例会
一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和5年3月2日～3月6日】

令和5年雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	3/2(木) 13時00分～	17／藤原 信宏	一括	1～3	11	3/6(月) 13時00分～	12／中村 辰眞	一問一答	26～28
2		6／梶谷 佳平	一問一答	3～6	12		16／細田 実	一問一答	28～30
3		7／宇都宮 晃	一問一答	6～9	13		15／周藤 正志	一問一答	30～31
4	3/3(金) 9時30分～	10／中林 孝	一問一答	9～11					
5		4／上代 純子	一問一答	11～13					
6	3/3(金) 13時00分～	5／鶴原 能也	一問一答	13～16					
7		9／足立 昭二	一問一答	16～18					
8		1／多賀 法華	一問一答	18～21					
9	3/6(月) 9時30分～	14／佐藤 隆司	一問一答	21～24					
10		8／上代 和美	一問一答	24～26					

令和5年雲南市議会3月定例会 一般質問通告一覧表

令和8年4月6日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	17	藤原 信宏 (一 括)	1. 各種選挙の投票 率向上対策について	<p>わが国の選挙権及び被選挙権は、国民が等しく持つ政治参加の権利であり、多くの国民が投票することによって、民主主義国である日本の政治の正当性が担保される。近年の投票率の低さは、国家としての存立基盤を揺るがしかねない由々しき問題で、より多くの国民が参政権を行使する政策が急がれる。</p> <p>(1)市は、年齢世代別・男女別の投票率を地域別に調査し、市民の投票行為を分析する考えはないか。</p> <p>(2)投票率が低い若年層への選挙啓発の強化が投票率の向上につながる。選挙管理委員会等は、どのような啓発活動を行っているか。特に若年層への選挙啓発に取り組む必要があると考えるが、所見を伺う。</p> <p>(3)18歳の新有権者に対して、選挙啓発ハガキを送付し、期日前投票を含めた「投票立会人の募集のお知らせ」をしてはどうか。選挙や政治に目を向ける良い機会になると考えるが、所見を伺う。</p> <p>(4)政治への参加意識を高めるため、学校でどのような主権者教育を実践しどう充実させていく考えか。</p> <p>(5)選挙をより身近にする取り組みとして、次期市長選の投票日当日は、記号式投票を実施してはどうか。</p> <p>(6)啓発のため18歳未満の家族同伴で選挙を訪れることを、広報やPRに取り入れ推奨してはどうか。</p> <p>(7)できる限り投票機会を保障すべきである。高齢者など交通弱者のための移動支援対策と、巡回式の移動期日前投票所(投票車)の導入</p>	市長、教育長、 担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 介護施設・事業所等における業務継続計画(BCP)策定にかかる積極的支援について</p> <p>3. 部活動の地域移行について</p>	<p>の考えを伺う。</p> <p>感染症や災害への対応力強化として、全ての介護サービス事業所・施設や障害者福祉サービス事業所は、令和6年3月までに業務継続計画(BCP)を策定し、研修や訓練を実施することが義務付けられた。各施設が、被害は必ず発生するとの考えを念頭に、確実に策定し非常時の対応力を高めていく必要がある。</p> <p>(1)残された時間は少ない。自然災害と感染症の2つの計画を全事業所・施設が達成可能と考えるか。また、市としても県や広域連合と連携して策定啓発を行い、シミュレーション訓練を体験する講座の開設や策定段階でのつまずきなどの相談・問い合わせに応じるなど、積極的な支援が必要と考えるがどうか。</p> <p>(2)施設内における計画と共に、地域や周辺施設との協力・連携体制についての計画が欠かせない。実効性のある計画にするために、ネットワークの構築など、どのような働き掛けを行っていく考えか。</p> <p>公立中学校の部活動改革にあって、国は、2023年度から3年間としていた休日の外部移行の達成時期を見直し、「可能な限り早期の実現を目指す」と、柔軟に進める方向に改めた。それでも、これまでとは異なる形で行われる部活動に対して変化する事柄は多く、それに伴って多くの課題が発生する。</p> <p>(1)当面は、休日の部活動についてであり、少子化や教員の負担軽減など理解できる点もあるが、その後、平日の部活動についても、引き続き委託を進める、完全移行は必須の状況か、所見を伺う。</p> <p>(2)生徒にとって何がベストかを最優先し、生徒の視点に立った検討を忘れてはならないと考えるが、どうか。</p>	<p>市長、担当部長</p> <p>教育長、担当部長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(3)生徒や保護者のニーズに応え、地域の実情に応じて、当事者に寄り添った取組みを進めていくことが重要である。生徒及び保護者の意見を聞く機会の設定など、今後の予定について所見を伺う。</p> <p>(4)専門性や能力を有する経験豊富な指導者が指導に当たるべきだ。各実施主体における指導者の確保に向け、どのように支援していく考えか。また、地域の指導者がいない場合や今まで指導してきた熱心な教員が地域クラブの指導を希望する場合は、引き続き指導できる処遇環境も整備すべきと考えるが、どうか。</p> <p>(5)保護者の負担が増え、経済的に参加できない「機会の較差」が広がる懸念がある。保護者の負担軽減に向けて、どのように取り組んでいく考えか。</p> <p>(6)多くの課題を整理する必要がある、受け入れ団体が見つからない部活も出てくるものと危惧する。移行期間については、柔軟に対応する必要があると考えるが、どうか。</p>	
2	6	梶谷 佳平 (一問一答)	1. 地元高校への進学支援について	<p>直近の新聞報道等を見ると、国会では異次元の子育て支援策を打ち出している。島根県内の他市町は、令和5年度の最重要課題は「子育て支援・定住対策」として予算に盛り込んでいる。雲南市は災害復旧を最優先としており、それは市民生活の安全安心を守るため重要なことと思う。しかし、子育て・定住支援も同程度か、それ以上に重要な問題と思う。しかしながら子育て・定住支援に力を入れていると言っている雲南市の「子育て・定住支援」予算は昨年並みとなっている。その結果、若者世代の転出が止まらない。加えて地元高校への入学志願者は、定員に程遠い。地元の中학생からも選んでもらえない状況となっているのではないかと。地域に魅力がなければ</p>	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 産業振興について	<p>ものがあるのか。</p> <p>②雲南市として奨学金免除支援についてどのように思うか。</p> <p>令和4年12月の有効求人倍率は、雲南地区は依然高い。島根県全体では、1.85倍(11月1.72倍)。正社員だけの求人を見ると1.76倍(11月1.64倍)と上昇し、松江・出雲に比べ0.3~0.4倍高く、県東部では一番高い。</p> <p>先般、市内企業との話し合いの中で、誘致企業が市内外で募集すると「我々の従業員がそちらへ行ってしまう。大手や誘致企業の求人支援は、UIターン者を優先に支援してほしい。」との声があった。過去に、市外大手企業が大幅な求人を行った際、市内企業は従業員が奪われかなりの痛手をこうむった。</p> <p>(1)市内中堅企業の求人支援と小規模企業の求人支援について伺う。</p> <p>①雲南市として、市内中堅企業と小規模企業の求人支援に違いはあるのか。</p> <p>②市内企業の新たな求人支援策について計画があるのか。</p>	産業観光部長
			4. 高齢者支援について	<p>先日、市内の高齢者の方から「運転免許証を返納すると、病院や買い物に行くのにタクシー代が高額となるが、何とかならないか。」と相談があった。</p> <p>(1)雲南市として免許返納時の支援、高齢者の負担軽減について伺う。</p> <p>①高齢者のタクシー利用における高額負担支援はあるのか。加えて、タクシーの1回乗車で使える優待乗車券の券面額が1,500円は、少ないのではないか。</p> <p>②だんだんタクシーは、1乗車300円と低額ではあるが、町をまた</p>	健康福祉部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 人権について	<p>ウイルスをまき散らすことを防ぐという意味では重要である。難病を抱えるハイリスク者は「健康と命を守ることも忘れないで」との訴えもある。教育長の見解を問う。</p> <p>コロナウイルスに対する世界の国々の行動規制を見てみると、マスクをしてください、ワクチンを打ってください、自主規制してくださいと、日本を含み多くの国々が、何々してくださいとのお願いであり、強制的に何々しなさいとはなっていないことが多いことに気付き、改めて、憲法など、人の行動規範を見てみることにした。まず、憲法についてである。</p> <p>日本の憲法では、一. 基本的人権の保護と、二. 政府の支配をできるだけ抑制することを二大要素とすると書かれている。この二大要素については、第二次世界大戦で国家総動員法により国民が強制的に動員されたことなどからの反省によるものと思われる。ここで、二大要素の一つである基本的人権について見てみる。</p> <p>日本国憲法第十二条には、この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならないとあり、国民各人が人間として生活し国家の一員として活動するとき、当然に認められなければならない基本的な権利である。</p> <p>しかし、ここには続いて、国民は、これを濫用してはならないのであって、常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふとも書かれている。つまり、基本的人権は、社会や国民全ての人々の幸福をも考えなければならないとのことだと思ふ。</p> <p>今、日本では、人権は自分の権利を強く主張する方が多いように思うが、周りの人たち、みんなの人権を認め合うことも大切であり、</p>	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 道徳について	<p>義務であると考え、この公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふということをみんなで考え、理解して行動すれば、よりよい社会になるものと思われる。対コロナについても、みんなの行動の参考になると考えるがいかがであろうか。市長の見解を問う。</p> <p>私が小学生の頃、つまり六十数年前のことであるが、学校で、「自分が言いたいことを言う前に、まず自分がすべきことをしなさい」、つまり、権利よりも義務を優先させなさいと言われたことを覚えている。憲法の中には、納税、勤労、就学の三大義務が書かれているが、私が教わった義務は、先ほどの社会や国民全ての人々の幸福のための義務、または道徳としての義務だったものと思われる。</p> <p>しかし今、学校教育や社会で、道徳について、この権利よりも義務を優先させなさいというようなことは聞いたことがなく、私が幼い頃の道徳と今の道徳は少し変わってきているように思う。現在、学校教育において教えられている道徳は、考え議論する道徳、他人と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を育む、または命を大切にする心や善悪の判断を学ぶとある。これらは、今増加している子供たちのいじめや自殺の防止のためのもののように思う。</p> <p>そこで、質問する。コロナウイルス対策では、何々してくださいとのことしか言えない状況であったが、憲法の基本的人権の中には、人権は公共の福祉という限界が、つまり、社会や他人のことを思いやる心を持つことという意味合いのことも明記され、そして、憲法とは別に、道徳的な考え方として、命を大切にする心や善悪の判断を学ぶ、または考え議論する道徳、そして、自らが言いたいことを言う前にまず自らがやるべきことをやるとの視点が大切であると考</p>	教育長、副市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. タブレットの活用について	<p>える。</p> <p>各人自らが、コロナ禍の中、何をどうするべきなのかをもっとしっかりと考え、議論する必要があるものと思うが、いかがであろうか。教育長と副市長に問う。</p> <p>GIGA スクールでタブレットを活用した教育が進められているが、これを利用して、一村一品運動ならぬ一人一得意技家庭内学習なるものがないものかと考えてみた。</p> <p>タブレットを利用して、子供たち一人一人が、またはグループが、自分に合った得意技を持てるようにする一人一得意技家庭内学習を行ってはと考える。俳句や囲碁、将棋、けん玉のような、学校教育としてはやりにくいものでも可能であり、それぞれの分野で専門あるいは得意とする方々により、ボランティアの先生として教えていただければと考える。</p> <p>そうすれば、その得意技の学習に集中することにより、鬱や自傷、そして暴れる子供達は少なくなり、自分に自信がもてるようになり、また人としての幅が広がり、人生教育にもつながり、そして家族みんなで行えば家庭の和にもつながる、妙案ではないだろうか。ボランティアの先生方も、子供たちに自分の専門や得意技を伝授できる喜びから、新たな生きがいを持てるものと思う。ぜひ学校側がまとめ役となって、子供たちとボランティアの先生方をマッチングするようにしてはと考える。いかがであろうか、教育部長に問う。</p>	教育部長
4	10	中林 孝 (一問一答)	1. 木次線と広域観光について	(1) 昨年 11 月 30 日、JR 西日本はローカル線の収支の公表に合わせ、将来的に出雲横田と備後落合間について将来的な交通体系のあり方について協議が必要との認識を示した。本市は JR 西日本の示したデ	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 水道局の事務について	<p>一タと認識をどう受け止め、今後、どう対応するか。</p> <p>(2)「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が改正され再構築協議会が設置できるようになる。再構築協議会をどう評価するか。再構築協議会に本市はどう関わるか。</p> <p>(3)再構築協議会ではファクトとデータで協議することになる。再構築協議会を組織するよう JR 西日本から要請された場合、本市はどのようなファクトとデータで臨むか。市民の期待に応えるためにどのような交渉をするか。</p> <p>(4)本市の職員で通勤に木次線を利用している職員は何人か。県庁へ出張などで木次線を利用している職員はどれくらいか。</p> <p>(5)木次線活性化にはイベントより日常的な利用促進策が重要だ。所見と具体策を伺う。</p> <p>(6)市長の考える広域観光とはどのようなものか、具体を伺う。</p> <p>(7)広域観光を木次線の利用促進とどう結びつけるか。「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正案で提言されている事項をどのように利用し成果につなげるか。</p> <p>(8)「トロッコ列車」運行の最終年にあたり、木次線をどう盛り上げていくか。「トロッコ列車」が担ってきた「外」からの誘客を「あめつち」にどうつなげるか。期待に応えるために何をすべきか。</p> <p>(1)市が管理すべき浄化槽で点検と清掃が行われないという不適切な事案が明らかになった。なぜ、このような問題が生じたか。原因と対策を伺う。</p> <p>(2)担当者任せになっている事務はないか。相互牽制やチェック体制は機能しているか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>担当部長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>水道局長</p> <p>水道局長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 職員教育について	(3)浄化槽の休止期間中の使用料金は、使用者に返済すべきではないか。 (4)正常に機能していいなかった浄化槽の汚水を河川に流し続けていた事態を市はどう受け止めるか。市は責任を問われないか。 (5)浄化槽の設置許可を巡って事務が遅延した事案があった。職務の執行には専門的な知識も要求される。職員への教育・訓練は十分か。同一職場(同一課、同一職務)で在籍年数の長い職員はいないか。職員の人事異動は適正に行われ、能力が十分に生かされているか。	水道局長 市長・水道局長 水道局長 総務部長
5	4	上代 純子 (一問一答)	1. 第3次総合計画策定への市民参画について 2. 定住対策と空き家・空き地の利活用について	(1)第3次総合計画策定指針には、市民とともに計画を策定するという思いが示されている。次の時代を担う地域の人材である中学生や高校生の意見を取り込む必要はないか。あるとすればその方法を伺う。 (2)市民の視点に立った将来像やビジョンの策定を分かりやすく表現していくとの方針である。大変重要なことであるが、市民の視点に立つ具体的な方策や、取り組み方を伺う。 (1)これまで定住施策に取り組んで来た成果により「住みたい田舎」ベストランキングでは、あらゆる部門で高い評価を得るなど、一定の効果が表れてきていると感じるが、これまでの取り組みについて、市長の所見を伺う。 (2)空き家を利活用することは、家屋の倒壊回避や、人口増加の有効な手段である。空き家情報マッチング制度の契約成立には至っていないようであるが、その一番の原因は何か。また、今後の空き家対策の進め方や利活用の方向性をどう考えているのか。 (3)空き家撤去後の土地や、空き地を活用することも、新たな住宅建	担当部長 市長 市長 担当部長 担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 子育て支援について	<p>築に繋がり、定住を促すのではないか。空き地の活用方策などは、どのように考えているのか。</p> <p>(4)結婚を機に、隣接する他市へ転出する若い世代が増えていると伺った。様々な施策に取り組んできてはいるが、より大胆な住宅施策や、現施策の強化は考えられないか。</p> <p>(1)出産おめでとうメッセージカード、紙おむつ、産前産後訪問サポート支援の「うんなんベビー応援事業」の期待は大きい。子育て支援の成功事例である明石市は、毎月1回のオムツ配布にあわせて産後ケアを行い、母親の孤立防止や不安解消を行う支援を行っている。雲南市でもこうした繋がりを持つことが出来ているのか伺う。</p> <p>(2)今後「うんなんベビー応援事業」の検証を行うことで、事業の拡充や、新たな支援策も考えられると思うが、どのように考えているのか伺う。</p> <p>(3)明石市の子育て支援では所得制限がないと聞く。これにより周辺部からの移住が増え、地域経済にも良い影響を与えている。本市の子育て支援施策において、所得制限がある事業はあるのか伺う。</p>	市長 担当部長
			4. ふるさと納税の推進について	<p>(1)先般示された今後5年間の中期財政計画では、収支不足が解消されないとのことであった。財源確保にはふるさと納税の拡大が必要と感じるが、令和4年の個人や企業版の寄付の状況はどうか。</p> <p>(2)他自治体との返礼品のシェア取り合戦になっているが、寄付をいただいている方にリピーターになっていただくための取り組みはされているか。また、されている場合、どのような対応をされているのか。</p> <p>(3)今後の寄付額の増額や、寄付者の増加に向けた奇抜な取り組みな</p>	市長 担当部長 担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>どの考えはないか。</p> <p>(4)旅先にふるさと納税をすると、返礼品として電子商品券がもらえる「旅先納税」を導入する自治体もあると聞く。雲南市の魅力発信と合わせたふるさと納税のしくみは考えられないか。</p> <p>(5)令和5年度の当初予算では、ふるさと納税推進事業の予算が大幅に拡充されたが、事務に携わる職員の体制はどのような状況か。</p>	<p>担当部長</p> <p>担当部長</p>
6	5	鶴原 能也 (一問一答)	1. 農畜産業の振興 策について	<p>(1)今年1月、JAしまねは「JA直営の肥育センター事業については、新たな運営体制を構築する」とあらためて肥育事業からの撤退を表明した。</p> <p>①昨年7月JAしまねが、直営の肥育センター事業から撤退する方針を発表して8ヶ月が経過した。12月定例会の肥育事業に関する質問に対し、市長は「畜産農家の皆様のご意見も頂戴し、最善な振興策について検討を進める」との回答であった。検討状況について伺う。</p> <p>②島根県は、4月1日付けの組織改正で、全共で「しまね和牛」が好成績を収めたことを受け、販路拡大や品質向上に特化させるため、農林水産部内に「畜産課」を復活させると発表した。本市においても、JAの肥育センター事業からの撤退対応、奥出雲和牛ブランド化の強化と販路拡大、また重要な次回北海道全共に向けた取組強化のため、畜産事業に特化した「畜産課」の設置等の体制整備が必要と考える。市長の見解を伺う。</p> <p>(2)昨年のプレミアムつや姫「たたら焔米」の認定率は、出荷数量10,200袋のうち5,300袋の52%と、一昨年と同水準の結果だった。</p> <p>①12月定例会市長所信表明において、今年の結果を検証し、「栽培技術の向上とブランド力の強化をより一層進める」とされている。</p>	市長、担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 学校給食の地産地消の推進と給食費の無償化について	<p>検証内容と結果について伺う。</p> <p>②たたら焔米の栽培面積の拡大のためには、担い手を中心とした栽培拡大への働きかけに加え品質の向上や収穫量の安定化、焔米の認知度の向上、これに併せ買取り・販売価格を高めていくブランド強化の取り組みが重要とされている。取り組みの現状について伺う。また、去年は1袋あたりPランク1,700円、Aランク1,400円を助成された。本年度の支援、推進施策について伺う。</p> <p>(3)第2次雲南市農業ビジョン(案)が示された。本市の農業は、農業者の高齢化、農家戸数の減少と後継者不足、農畜産物価格の低迷、耕作放棄地の拡大、資材価格高騰など、本市だけで解決できない深刻な問題を抱える。本市が目指す農業とは具体的にどのような農業をイメージするものか。</p> <p>(1)第3次雲南市食育推進計画において、市内の全てのこども園、小学校、中学校で提供されている給食は、「地産地消にこだわり、安全・安心な給食の提供を目指す」とされている。</p> <p>①市内3カ所の給食センター別の地産地消への取組体制と野菜の地産地消率について伺う。</p> <p>②食えることは人間形成にとって大切な土台となる。地域の食材で子どもの心と体の成長を保証することは、地域の農業を応援する機会にもなると考えるが見解を伺う。</p> <p>③“幸せを運ぶコウノトリ”と共生するまちづくりアクションプランにおいて、減農薬・有機農業等を農業団体等と連携して推進している。地元大東町の生産者がブランド米「コウノトリやすらぎ米」として販売を始めた。兵庫県豊岡市は、JAたじまと連携し、</p>	市長、担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 危険な空き家対策について	<p>市内の全小・中学校の学校給食で提供される米を、生き物と共生に配慮して栽培する有機栽培米「コウノトリ育むお米」に切り替えると報道された。本市においても同様の取り組みができないか見解を伺う。</p> <p>④給食費の無償化による保護者の経済的負担の軽減は、子育て環境の向上、究極の少子化対策であり、人口転出の抑制、転入・定住を促進すると考える。安心して出産・子育てができる環境を作るためにも給食費(食材費)の無償化は早急を実施すべきと考える。市長の見解を伺う。</p> <p>(1)大東町の危険な空き家に対し、本市において瓦飛散防止ネットの敷設、壁の崩壊防止のため市道に土のうを積んでもらった。しかし、土のうが自家用車の通行の障害となること、火災発生時の消火活動に障害となること、また強風、降雪など自然災害、地震により倒壊の危険性が高いこと、更に通学路に隣接していることなど、依然として市民生活に多大な不安を与えている。地域住民が安心して暮らすための住環境、また定住推進のための本市の見解を伺う。</p> <p>(2)空き家の活用対策等の充実も重要だが、「空き家が発生しない」発生抑制のための対策が更に重要と考える。本市の発生抑制に対する見解を伺う。</p>	担当部長
			4. 学校問題について	<p>(1)大東中学校の保護者用の送迎駐車場は、「雲南市大東ふれあい運動場」の駐車場を使用するよう指示されている。しかし、進入路付近が狭隘なため普通車が交差できず大変危険である。また、駐車場の入り口付近を照らす街灯がなく暗いため、12月から2月の雨の日の夕方は大変危険である。令和6年3月の海潮中学校の統廃合に伴</p>	担当部長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			5. 除雪対応と水道管の漏水修繕対応について	<p>う保護者の送迎も考慮すると、早急な対応が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 市道立南線から市道飯田養賀線に入る三叉路から、大東中学校前までの約 700m 間は、歩道を照らす防犯灯が一つも設置されていない。安全な通学を確保するため早急な設置が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 2023 年度県内高校一般入試の最終出願状況の発表があり、大東高校の志願倍率が 0.53 倍と今年も定員割れとなった。志願倍率が低い要因は何か見解を伺う。</p> <p>(1) 市内建設事業者の減少と災害復旧工事対応から、本年 1 月末のように除雪作業と市道に敷設された水道管の漏水修繕工事を、同時刻に市内事業者で対応することは大変難しい状況にある。この 2 つの委託業務がスムーズに遂行できるよう、市の担当部署において業者の手配等について「打合せ」等の調整がされているのか伺う。また、現行の漏水修繕当番について、受託事業者の意見・要望等が十分に反映されたものとなっているのか併せて伺う。</p>	<p>教育長</p> <p>担当部長</p>
7	9	足立 昭二 (一問一答)	1. JR 木次線を取り巻く情勢について	<p>3 月定例会所信表明にあるように「国においては地域公共交通活性化再生法等の改正案」が提出された。今回の法案は「ローカル線の再構築に関すること」と共に「バス・タクシーなどの地域交通の再構築に関すること」にも触れられている。今回は「ローカル線の再構築に関すること」について質問する。</p> <p>(1) 法案が成立した場合、乗車密度が低い JR 木次線も「存続か、廃止か」の対象になると予想される。木次線利用促進だけでなく制度の運用対応も急がれると思うが市長の所見を問う。</p>	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 道路愛護作業に ついて	(2) JR 西日本は、JR 芸備線の存廃を含めた路線の在り方について沿線自治体と話し合いが開始できるように国への協力を要請したと報道された。「再構築協議会」の創設を求めたと推測するがこの内容について把握しているのか問う。	政策企画部長
				(3) 2月に国土交通省に出かけ、今国会提出法案の背景・制度など聞いた。雲南市議会、雲南市、島根県も強く求めている「鉄道事業法」改正については、国土交通省は一切考えておらず、「JR 会社法に基づく『大臣指針』を遵守させることで適切な維持に努める」と説明を受けた。「大臣指針」では歯止めはかけられないと思うが、市長の所見を問う。	市長
				(4) 今回の国土交通省の説明では、存続、廃止の判断として線区の評価手法として「クロスセクター効果」の活用が強調されていた。9月定例会の市長答弁では、活用に否定的であったと感じたが、再度どのような考えか問う。	市長
				(5) 本日時点では他の線区の動きや、JR 西日本の動きを注視していくしかないと思うが、法案が成立したら、一気に「再構築協議会」設置に国土交通省も動くと考え。市長の見解を問う。	市長
				(1) 道路愛護作業は毎年実施されているが新年度では拡充事業として、「集落間除草作業の制度の見直し、新たに道路愛護作業の継続が困難な自治会を支援する実施団体へ作業手数料の支払いを追加する」とは具体的にどのような見直しが行われるか問う。	建設部長
				(2) 政策立案の背景には「世帯数の減少、高齢者世帯の増加によって愛護作業の継続が困難になりつつあり、地域の実態に沿った対策が求められる」とある。今後、道路愛護作業が困難な自治会も出てく	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>る。対策は考えているか問う。</p> <p>(3)雲南市道路河川愛護作業交付金要綱第1条では「市の呼びかけにより、自治会等の地域がボランティアで実施する「愛護作業」とは、道路河川愛護作業のことか。他にもあるのか問う。</p> <p>(4)市が行ってきた市道法面の草刈りは合併後、予算がなく草刈りの回数が減り、実施されなくなった場所も出ている。そしてその作業が道路愛護作業に委ねられてきていないか。維持管理予算こそ増やすべきではないか。</p>	<p>建設部長</p> <p>市長</p>
8	1	多賀 法華 (一問一答)	1. 子育て支援について	<p>(1)ファミリーサポートについて</p> <p>①現在、雲南市では、ファミリーサポートをきょうだいで利用すると、2人目以降半額の利用料金になっている。きょうだいを預かる時は、援助会員1人できょうだいを預かっているため、かなり負担が大きい。特にきょうだいともに未就学児であったり、時には3人を預かったりすることもある。ファミリーサポートの事業を継続していくためにも、援助会員の負担は軽くすべきである。国の方針にも、基本、一対一ということがうたっている。出雲市の場合、預かるきょうだいの年齢によって例外もあるが、きょうだい一人につき、それぞれに援助会員をマッチングしている。その場合でも、依頼会員が支払う費用は、病児病後児はのぞき、2人目からは半額とされている。残りの半額分は、援助会員からの申請で、市から補助金を交付されている。また、他の市では、ひとり親家庭への利用料の半額助成をされているところもある。雲南市で利用されている方が半額助成の対象となった場合の金額をそれぞれ問う。</p> <p>②こうした助成を、現場の声を聞きながら、雲南市でも取り入れる</p>	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>ことはできないか。</p> <p>③依頼会員の依頼が多様化しており、援助したいと思っても援助会員が増えないとマッチングが難しい。現在、物価高騰もあり、援助会員の方からガソリン代が出ると良いという声を聞いている。今後、援助会員を増やすためにも、移動した距離にかかるガソリン代について検討していただきたい。出雲市、松江市他、ガソリン代の支払いをしているところは多いと聞く。いかがか。</p> <p>(2) 育児休暇について</p> <p>少子化対策と働き方改革はセットであるが、すぐには男性の育休が広がるのは難しいと思われる。育休を取得した女性に子育ての負担が集中するのは避けなければならない。育休をとるときょうだいの保育所の入所時間が短時間預かりに変わってしまい困っておられる方のお話を聞いた。育休中は、「保育ができる」ということで、基本、保育所が使えなくなる。雲南市は、育休中でも短時間保育が利用できるが、ぜひもう一步すすんでもらうことはできないか。例えば今回の相談だと、それまでは両親とも働いており、保育所の送り迎えは2人のうちできる方がやっていたのが、短時間保育になると、育休をとっている母親だけでしなくてはならなくなる。この相談のあったご家庭は一番上の子が1年生になるところで、真ん中の子が年少さんになられる。1年生の子が帰ってくるくらいの時間帯に短時間保育になった年少の子を生後間もない子を抱えて迎えに行くようになる。もしそれまで通り標準時間で保育所が利用できていれば、行きも帰りも父親が送迎をすることができる。育休中もきょうだいの保育の必要性があると市で認め、標準時間での保育所利用が選択</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>できるようできないか。</p> <p>(3)子ども家庭庁設立に向けての市の子育て支援のあり方について</p> <p>①市内の保健師、「だっこ」、子育て支援センター、ファミサポ、産前産後サポート事業、保育所、幼稚園、こども園、雲南市立病院のショート、障がい児施設など様々な子育て支援に関わる方たちの価値観のすり合わせが大切である。それぞれのカラーはあるとは思いますが、市として「子育てについてこうした方針をもってしていきたい」ということを合同会議のような形できちんと共有したり、意見交換されたりすると良い。こども家庭庁ができるこの時期はそうした集まりをしっかりとするのに良いチャンス。まだ雲南市は、町の意識が残っており、一つの市として情報交換したりする仕組みが弱いところがあるのではないかと思う。まずは、子ども政策局で、現場の意見をしっかりと聞き、事業所同士を繋ぎ、働いている方達に雲南市の子ども政策のかけがえのない存在であると伝え、お互いにリスペクトできる関係になってもらいたい。そうした取り組みを継続して行っていくべきと思うが、いかがか。</p> <p>②雲南市は、良い制度がたくさんある。先日、現在妊娠されている方とお話したら、数年前に出産した時よりもかなり手厚くなっていると喜んでいたが、「これは妊娠してないと分からないよね」とも言っておられた。「雲南市は、あの明石市にも負けないくらい良い政策がいっぱいあるから発信の仕方だと思う」と言っておられる方もいる。当事者の方だけでなく、しっかり市内外に雲南市の子育て政策を総合的に分かりやすく発信していく必要があると思うがいかがか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 性の多様性について	<p>(1)元首相秘書官の同性愛に対する「見るのも嫌だ。隣に住んでいるのもちょっと嫌だ」「社会に与える影響が大きい。マイナスだ。秘書官室もみんな反対する」「人権や価値観は尊重するが、同性婚を認めたら国を捨てる人が出てくる」という発言が報じられたが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2)雲南市内の保育・教育施設における子どもの合計数と、男女別の人数は。その性別は、性自認に基づいているか、それとも戸籍またはその他の性別に基づいているか。性自認と戸籍上の性別が異なる子どもの人数は、調査・把握されているか。</p> <p>(3)雲南市内の子どもたちは、性の多様性(※性別には、体の性、心の性、服装の性、社会的性、好きになる性など複数の要素が含まれ、一人ひとりが自分ならではの性自認や性的指向を持っているということ)についてどのような教育の機会を与えられているか。性の多様性について正しい知識を得たうえで、全ての子どもが、自分の性自認や性的指向について考えるための時間を与えられているか。また、性自認や性的指向について悩み相談したい子どもの居場所はどのように用意されているか。</p>	
9	14	佐藤 隆司 (一問一答)	1. 市長就任3年目を迎えられる市長の政治姿勢について	<p>(1)雲南市長に就任されて2年が経過した。就任直後のコロナ対応や7月豪雨災害、喫緊のプロジェクトの是々非々の決断など心血を注がれ、就任2年目は「復興元年」と位置付けられた。愈々、任期折返しとなる3年目を迎えるにあたって、目指される思いの一端が伺える所信表明と感じ取った。2021年3月の所信表明の「夢と希望が感じられる明るい未来」に向けての思いに揺るぎはないか伺う。</p> <p>(2)「雲南プライド」というキーワードはどのように展開されようと</p>	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 「異次元の少子化対策」と少子化問題の延長線上にある学校統廃合について	<p>しているのか伺う。</p> <p>(1)市長は、小・中学校、高校など学校の統廃合は避けていきたいとの思いを聞いた。私もその思いに同感であり賛同するが、残念ながら少子化の現状と将来推移は厳しい現実がある。海潮中学校の統合は地域の皆様の苦渋の決断であったと思うが、この現実をどう捉えているのか伺う。</p> <p>(2)まだまだ、進む少子化にどう対応すべきか。中学校は6校、小学校は15校。地域での議論を尊重することはもちろん重要だが、本市の教育環境の将来の在り方を示すことは行政の大きな役割と考える。何事もエネルギーのある時、余力のある時に次の一手を打たないと、物事はあと処理的に後手・後手に回ってしまい、結局は大切な時間を失ってしまうことがよくある。決して、先手必勝とは言わないが、タイムリーな判断時機を見逃さないことが最も重要と考える。学校の適正規模・適正配置の考え方(第4次雲南市教育基本計画)について、将来への方向性をより具体的に勇断をもって示す時期ではないかと思うが見解を伺う。</p> <p>(3)一例として、斐伊地区にある斐伊小学校は、明治8年開校(1875年)で今年148年を迎える。児童数の推移は昭和33年が最高で218名(1947年団塊世代以降)、最低で115名(1966年)、令和4年現在は149名となっている。これまでの児童数の変化は、時代の流れに対し行政の積極的な定住施策の展開が功を奏してきたと考えられる。国の「異次元の少子化対策」も期待しつつ、本市としてはその前に今の次元をどう判断し、「将来をどう見通すのか(将来像)」が重要と考える。出生数から見た将来の雲南市内の学校教育施設環境の統廃</p>	市長・教育長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 雲南省の「失われた10年」、今後の対応の一手について</p>	<p>合については、10年から15年先を見据えた計画を示すことが必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)現状の人口減少、特に少子化現象は深刻な状況である。このことは、今に始まったことではなく、半世紀前から語られていたことであり国の責任が問われる。しかし、末端自治体は現状打開策として常に対応し対策を尽くしていかなければならない。本市の「失われた10年」を考えると住宅分譲地や企業団地分譲地の整備はテーマには挙げられていたが、最優先施策として展開されてこなかったことにあるのではないか。</p> <p>①市内学校の児童や生徒数の維持確保には、定住促進は欠かせない。中でも、重要なのは移住者や子育て世代の定住は即戦力となる。その即戦力世代の転入、転出をどう検証されているのか伺う。</p> <p>②本市の新設住宅戸数の推移と県内7市と比較しどのように検証されているのか伺う。</p> <p>③新設は市内在住者か転入者なのか、また年代等どのような傾向となっているのか伺う。</p> <p>④市内への定住促進に向けた住宅分譲地は十分に確保され、期待に応えられているのか。</p> <p>⑤本気度を示す「若者移住者強化プロジェクト」や「ママ・パパマイホーム夢プロジェクト」、「新婚さんいらっしゃい」など「ソフトなアナウンス」で行政が率先して移住者等への定住促進をすべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>⑥企業団地分譲地は、進出企業の期待に応えられる状況なのか。</p>	<p>市長</p>
			<p>4. 雲南地域を変え</p>	<p>(1)中国横断自動車道 尾道松江線(中国やまなみ街道)平成 25 年 3</p>	<p>市長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			た尾道松江道開通から10周年が近づき、取り組みについて	<p>月(2013年)三次東 JCT・IC～吉田掛合 IC の開通、平成27年3月(2015年)には全線開通し、令和6年(2025年)には10周年となる。平成25年3月に「たたらば壺番地」が4月に「道の駅たかの」がオープンし、「たたらば壺番地」は平成27年5月には2年3ヵ月で来場者数(レジ通過者数)が予想を上回る100万人を達成し大きな好影響を得た。</p> <p>①入り込み客数の推移をどのように検証されているのか伺う。</p> <p>②コロナ禍の影響はあると思うがアフターコロナに向けて、南の玄関口「たたらば壺番地」は吉田町の街並みや菅谷たたら山内、フォレストアドベンチャーたたら山内など吉田町はもとより誘客への切り口に大きな役割がある。今後に向けての仕掛け(観光戦略)の考えを伺う。</p> <p>③オープンして10周年となる今年度の取り組みを伺う。</p>	
10	8	上代 和美 (一問一答)	<p>1. 水道料金改定について</p> <p>2. 学校給食費無償化について</p>	<p>(1)市は5年ごとの水道料金改定について、令和6年度から令和10年度までの水道料金を平均改定率5.07%引き上げ案で令和4年11月29日の第1回上下水道料金審議会に諮問し、第3回審議会で「料金引き上げが妥当」との答申案がまとめられた旨、産業建設常任委員会で説明された。今、多くの市民が、年金の引き下げ、実質賃金が上がらず、電気代や物価の高騰で悲鳴をあげているときに、生活になくってはならない、命の水の引き上げはすべきではない。一般会計からの繰出金を減らさず市民の負担を軽減すべきではないか。市長の見解を伺う。</p> <p>(1)少子化対策が国会でも重要問題になっている。2020年度の政府の「少子化社会に関する国際意識調査」で「育児を支援する施策と</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 岸田政権の軍拡路線について	<p>④再生可能エネルギーの普及は急がれるが、自然破壊や生態系を壊すものでなく、地産地消で分散型、循環型のエネルギーの普及を図るべきではないか。</p> <p>(1)今進められている岸田政権の軍事拡大路線は、「専守防衛」という戦後の日本の安全保障政策の大転換をもたらす。敵基地攻撃能力(反撃能力)の保有は憲法違反であるだけでなく、米軍の先制攻撃への参加の危険がある。相手からの報復攻撃は必至であり、広島長崎原爆投下、東京大空襲、沖縄戦のような日本が標的となり焦土化してしまう危険な道に踏み込もうとしている。しかも、軍事費・防衛予算を5年間で43兆円もふやすことになれば、増税や社会保障の切り捨てで暮らしも破壊されることになる。平和であってこそ市民のいのちと暮らしが守られる。平和を壊し、暮らしも壊す岸田政権の軍事拡大路線に市長として毅然と反対することを求めるが、所見を伺う。</p>	市長 市長
11	12	中村 辰眞 (一問一答)	1. トロッコ列車ラストランについて	<p>奥出雲おろち号の運行が今シーズンで終了する。雲南市をはじめ沿線自治体ではラストランの日まで様々なイベントが行われると考える。</p> <p>(1)イベントについて ①市として現段階で計画されているイベントについて伺う。</p> <p>(2)撮り鉄対策について ①昨年来、トロッコ列車の雄姿を撮影しようと多くの撮り鉄の皆さんの姿を見かける。最終シーズンとなる今年は、さらに多くの撮り鉄の皆さんが木次線沿線にやってくることは想像に難くない。木次線各駅での対策はJRが行うものであるが、沿線については本市が中</p>	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. Jアラートに関して</p> <p>3. 国民健康保険高額医療制度について</p>	<p>心となり計画的に取り組むべきと考える。どのような計画で対応するのか伺う。</p> <p>②沿線住民対しての撮り鉄対策の周知も必要である。無断駐車、不法侵入、器物破損等は全国の前例から容易に想像できる。ラストランに向けて日々激化することも考えに置くべきと考える。被害発生した時の情報を集約する専用窓口を市に設置し、関係当局との連携をとり対応すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)Jアラート(全国瞬時警報システム)の訓練が行われる事がある。「これはJアラートの訓練です」のような音声流れるだけで、住民サイドは何もすることはない。この訓練の目的を伺う。</p> <p>(2)ここ近日は北朝鮮によるミサイル発射実験は激化していると考ええる。主に本国の北側の日本海に着弾しているが、SLBM(潜水艦発射型弾道ミサイル)の保有も示唆されている限り日本全土も警戒をしなければならない。仮に本市上空を通過するであろうと推察されたとき、Jアラートからは国民保護サイレンが発報される。このサイレンはやみくもに流せるものではないと認識している。多くの県民市民はどのような音なのか知らないのではないかと考える。出前講座等を活用し周知することで国民保護サイレンが発報されたときの対応が混乱なくスムーズにできると考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)昨年12月の定例会で「国民健康保険高額医療制度」の制度上の問題点について取り上げた。本市ではこの制度について積極的な周知はされていなかった。河内長野市では「入院や高額な治療を継続している人が月途中で世帯異動や保険異動をするとその月の医療費負担が増えることがあります」との注意をホームページに掲載して</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. 障がい者に対する相談窓口について</p> <p>5. 積雪時の高齢者等の一時避難所について</p>	<p>いる。本市としても同等の掲載をするべきではないかと考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)本市の相談窓口には、出産や子育ては「だっこ」や子育て支援センターがある。高齢者の相談は包括支援センターなどがある。では障がい者に関しての公的相談窓口はどこになるのか伺う。</p> <p>(2)障がい者と高齢者で構成される世帯に関する窓口はどこか伺う。</p> <p>(1)冬季の降雪により自宅周辺の道路が通行止めとなることがあり、生活するうえで支障をきたす。冬季だけでも安心して身を寄せる場所はないかとの問いかけがあった。本市では掛合町の好老センターと吉田町のケアポート吉田がそれに該当するが、利用にあたっての詳細があまり知られていない。利用条件等について伺う。</p> <p>(2)両施設とも高齢者が対象と認識するが、障がい者の利用は可能とされないか伺う。</p> <p>(3)施設のバリアフリー化の考えはないか伺う。</p>	
12	16	細田 実 (一問一答)	<p>1. 市長任期後半の市政運営について</p> <p>2. 脱炭素宣言と取り組みについて</p>	<p>(1)今議会の所信表明に述べられているように、任期前半はコロナ、災害対策に大半の力を傾注された期間であった。コロナ感染もまだまだ油断できず、災害復旧にも今年度予算の多くを充てることになる。そうした中で今年度予算案では大東公園のサッカー場整備や木次中学校改築準備、文化・スポーツ面での予算拡充など新たな取り組みも打ち出されている。しかし、財政は公債費比率の増など厳しい状況は増している。ワールドカップで日本は後半戦に勝負をかけ勝利したが、市長は後半戦をどう取り組むか。</p> <p>(1)12月定例会でも取り組みについて質問したが、大きな目標の答弁であったように思う。それはそれで受け止めたが、雲南市として</p>	市長

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 人口の社会増と 子育て支援	<p>の実践可能な、あるいは具体案を示す必要がある。そこで今年度実現計画を作るとのことだが、並行して市民に見える形で事業を行い、また、市民の協力を求めていくことが重要ではないか。宣言したことさえも忘却の彼方になる。所信表明では来年度実施可能な取り組みを並行して行うとのことだが、取り組み、市民との協力を伺う。</p> <p>(1)所信表明では「人口の社会増に向けては、あらゆる施策が関連しますが、その中でも若者世代が雲南市に住み、あるいは若者や女性がいきいきと心豊かに暮らし続けていただく観点から、住宅政策の推進、UI ターン施策の推進、市内高校生の還流の推進、人権意識の向上やスポーツ文化の振興を図る」とされた。</p> <p>雲南市は各方面でUI ターン者が活躍されているが、市内での活躍についてどのように考えているか。また、UI ターン者からの雲南市の評価をどう聞いているか。何が課題か。</p> <p>(2)人権意識の向上も課題だ。「若者、よそ者、ばか者」が地域には必要と言われる。多様な人材の受け入れが必要だ。また、多様な市内人材の育成(発見)も大切だ。所信表明では多様性を尊重しお互いを認め合える地域づくりを表明されているがどう考えるか。地域を支え続けている市民との更なる交流と連携が必要ではないか。</p> <p>(3)子育て世代から切実な要望が寄せられている。</p> <p>①認定こども園の保育時間を30分延長してほしい。</p> <p>②すべての認定こども園でゼロ歳児から預かってほしい。</p> <p>③育児休業中の保育は時短保育だが、体調等により通常保育をしてほしい。</p> <p>④育児相談の場にベビーマッサージや抱っこの仕方など教えてくれ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(5)①第2次農業ビジョンが示されたが、市の農業は今後どうなるのか(就業者数、産出額、農業所得、耕作面積など)。</p> <p>②産直振興に力を入れるとのことだが、関連する「道の駅活性化ビジョン」はまだ示されておらず、一体どうする考えなのか。</p> <p>③和牛肥育事業の問題はどうなっているのか。誰が主体となって解決しているのか。</p> <p>(6)石飛市政で地域経済はどうなっていくのか。</p>	<p>市長、農林振興 部長</p> <p>市長、農林振興 部長</p> <p>市長、農林振興 部長</p> <p>市長</p>